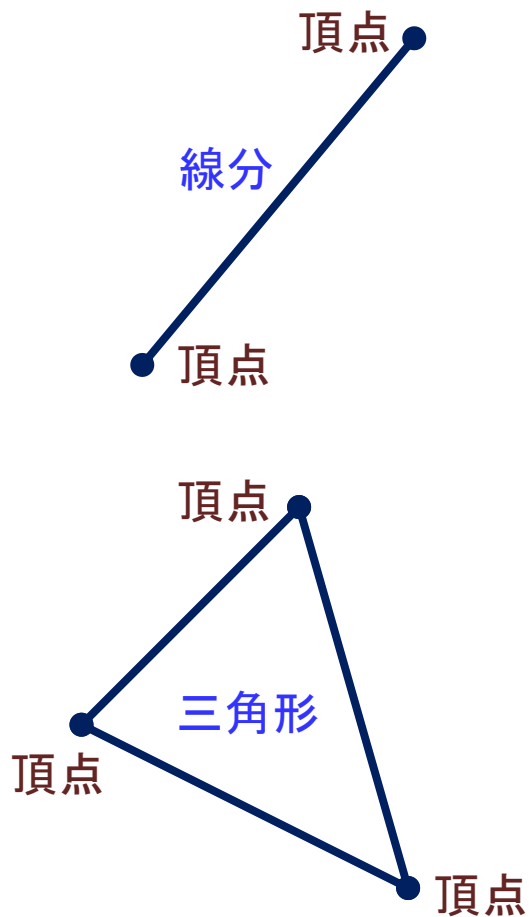


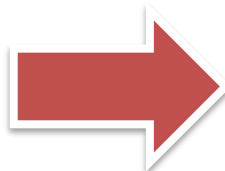
コンピュータグラフィックス

第3回：線を描く

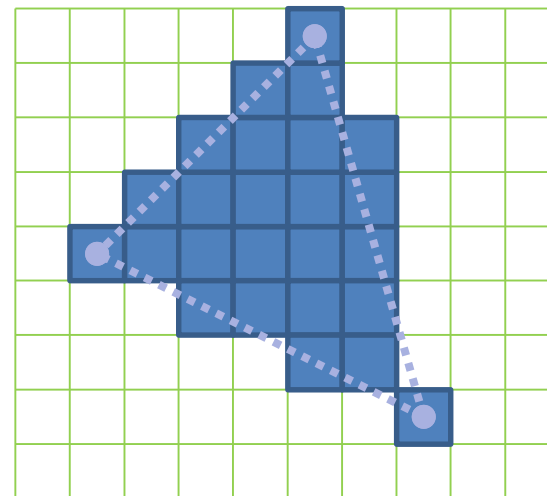
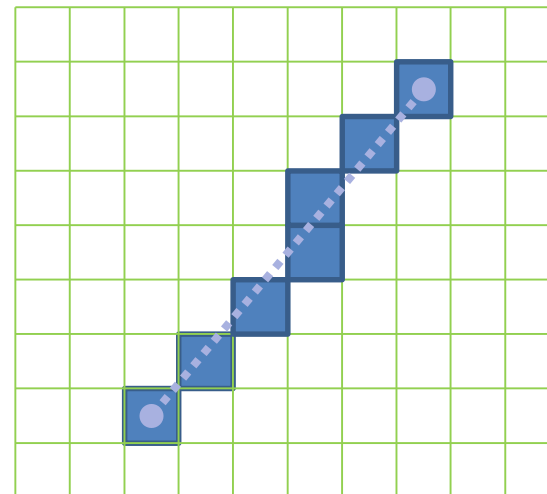
デジタル画像の生成



ベクトルデータ



ラスタライズ



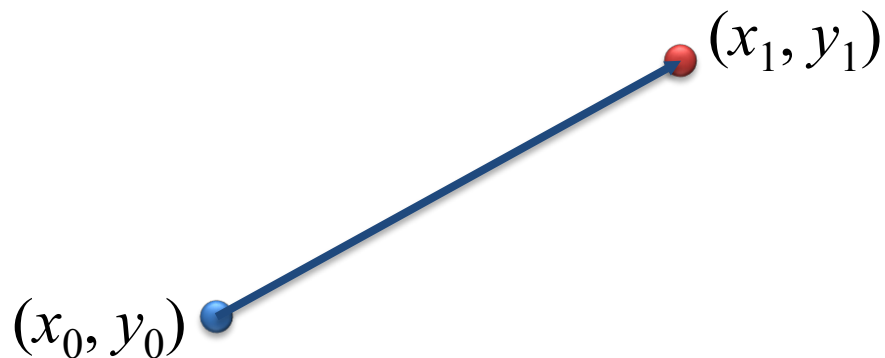
デジタル画像

走査変換(スキャンコンバージョン)

- ベクトルデータのデジタル画像化(ラスタライズ)
 - 線分を描く
 - 円を描く
 - 台形を塗りつぶす
 - 三角形を塗りつぶす
 - 任意の多角形を塗りつぶす

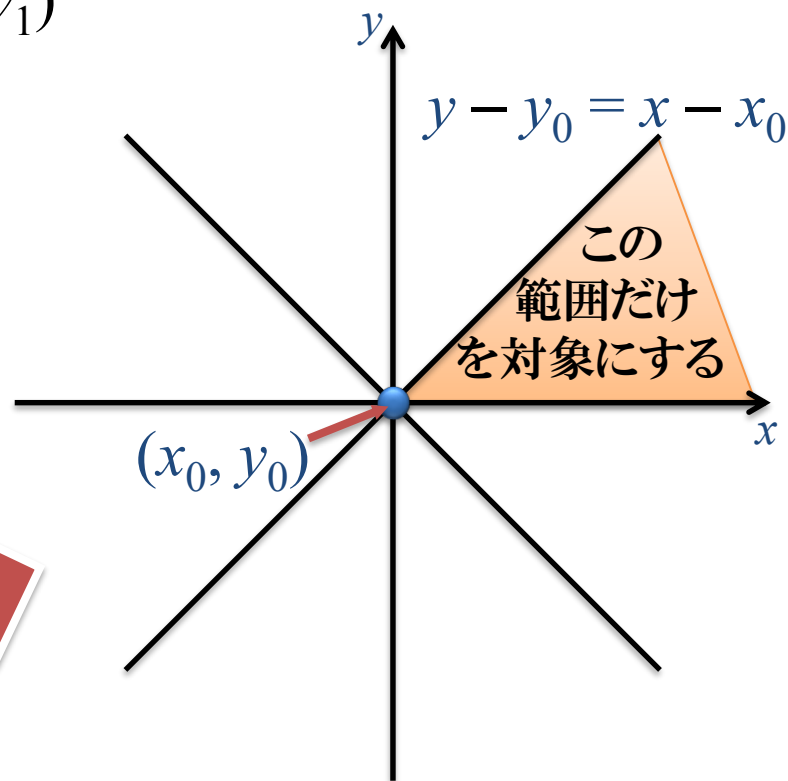
線分を描く

● 2点 (x_0, y_0) , (x_1, y_1) を結ぶ線分の生成



■ 条件

- $x_0 < x_1$
- $y_0 < y_1$
- $x_1 - x_0 > y_1 - y_0$

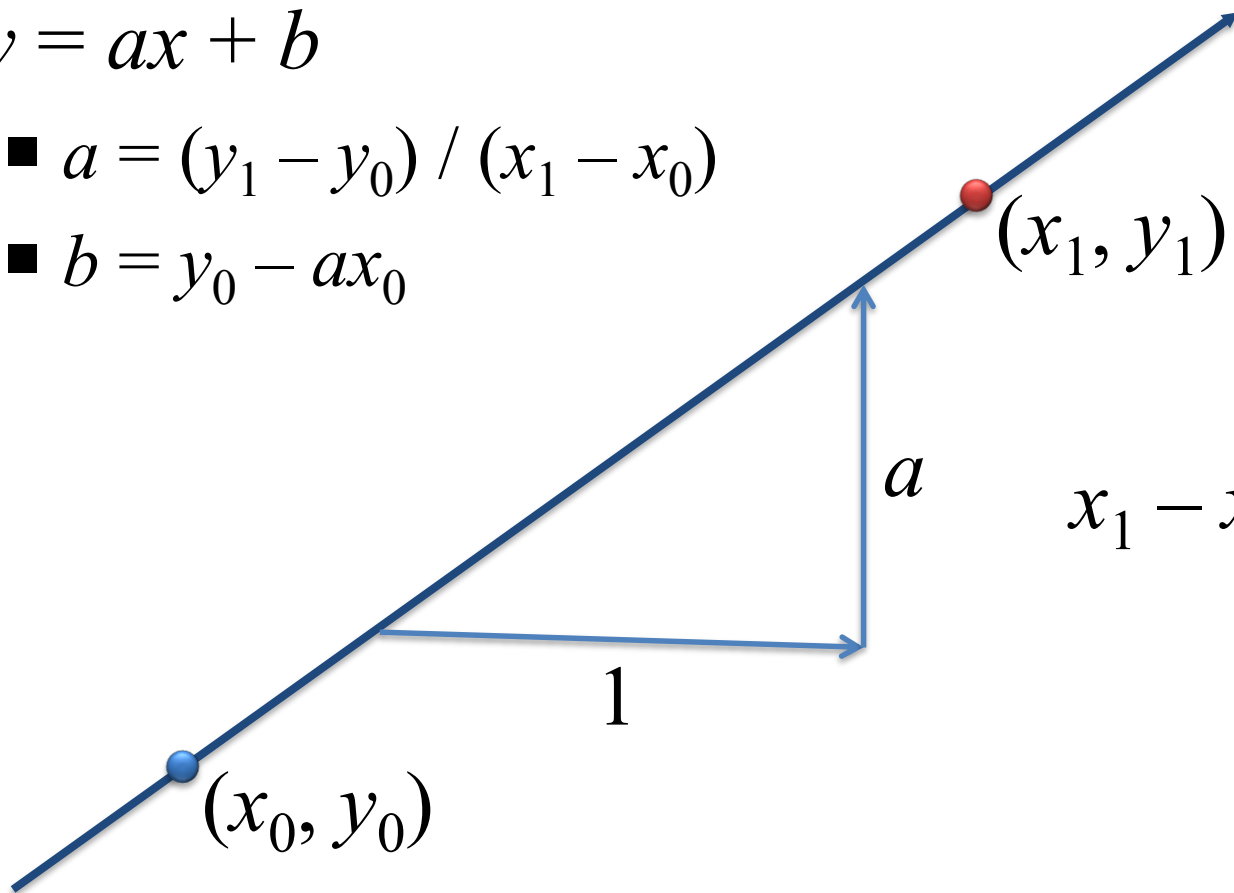


直線の方程式

● $y = ax + b$

■ $a = (y_1 - y_0) / (x_1 - x_0)$

■ $b = y_0 - ax_0$

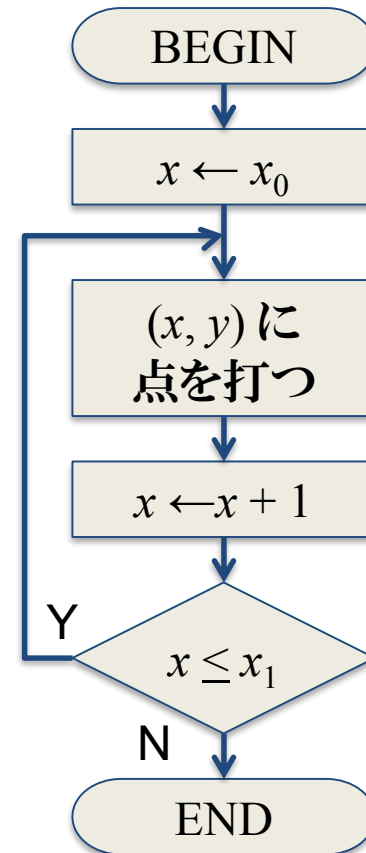
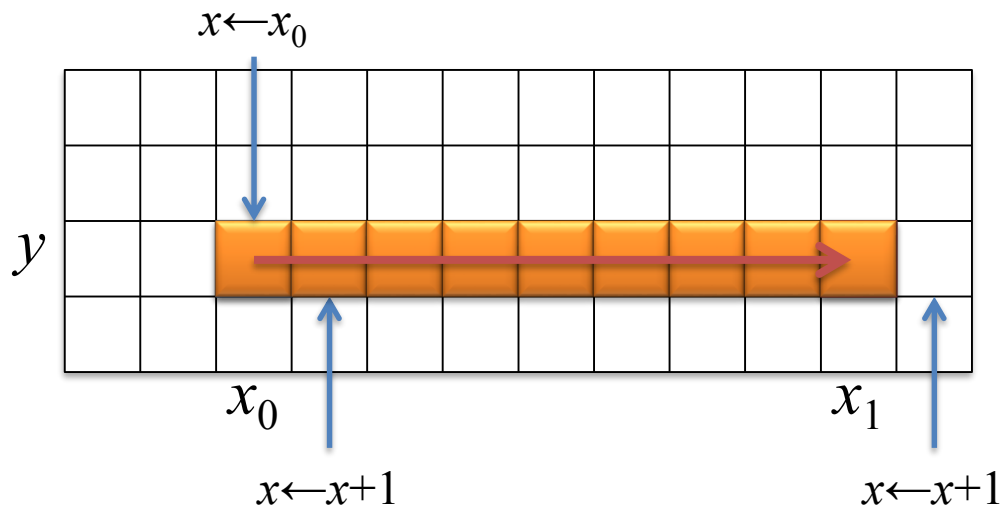


$$x_1 - x_0 > y_1 - y_0$$

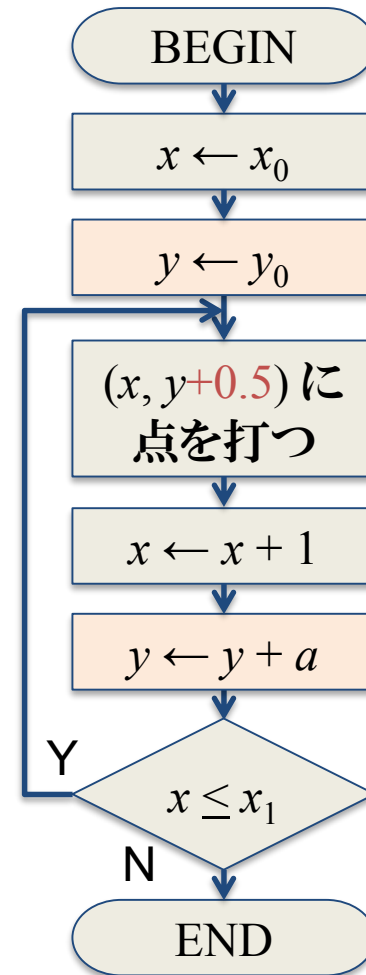
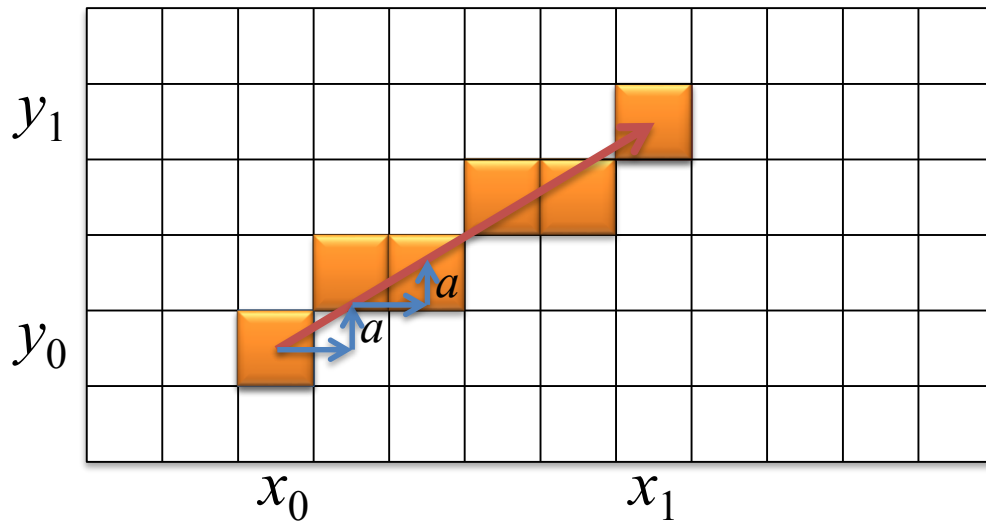


$$a < 1$$

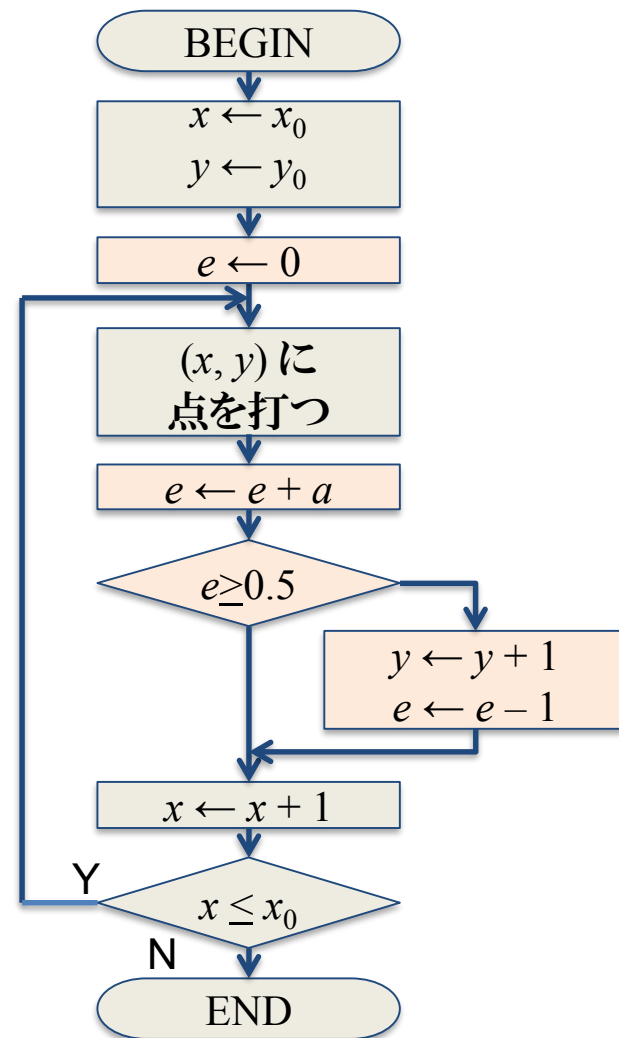
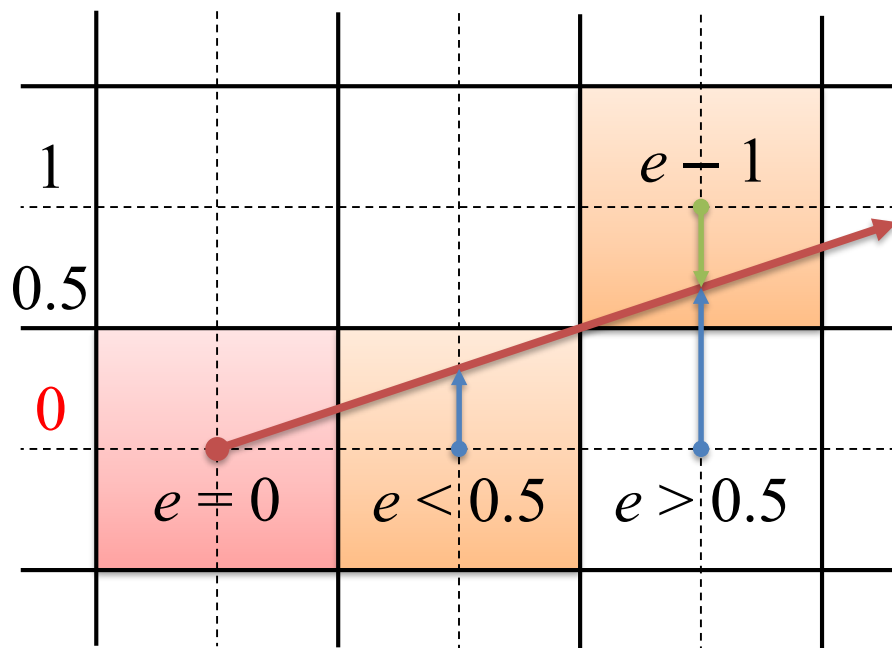
水平線を描く



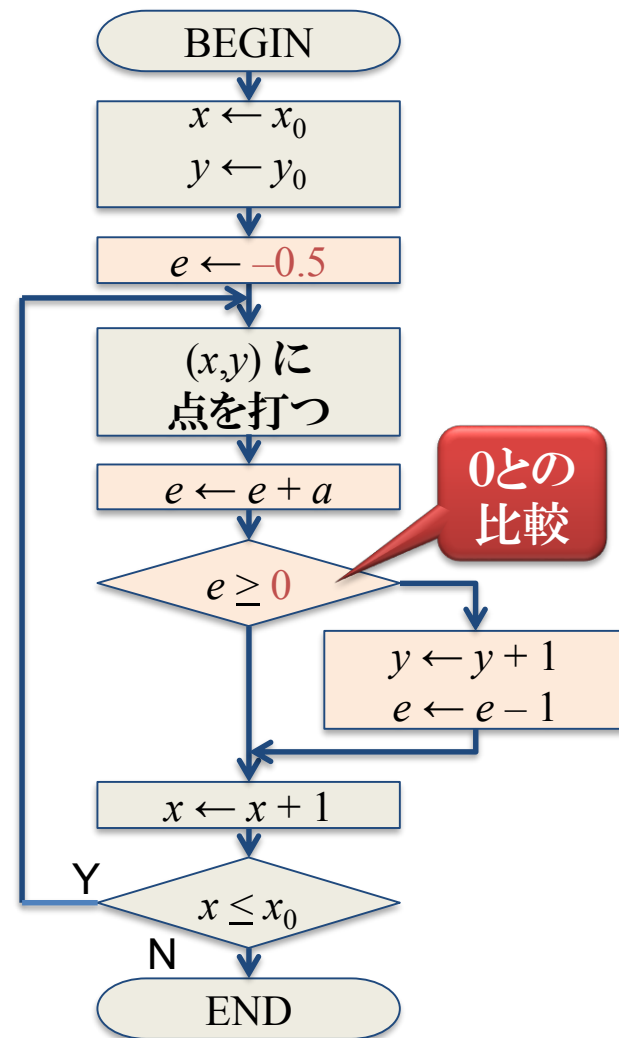
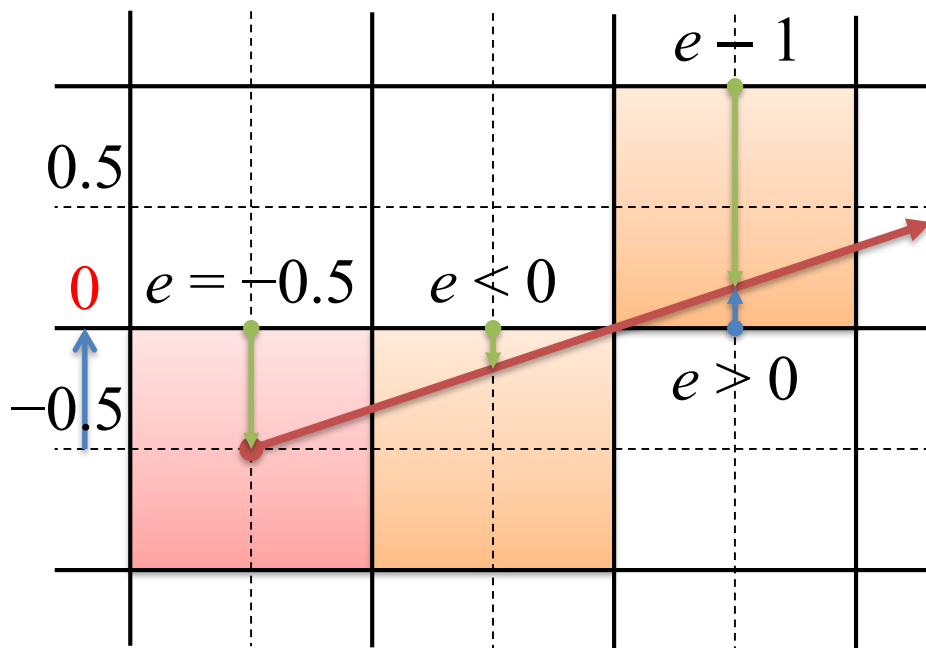
傾きを累積して斜線を描く



傾きの代わりに誤差を用いる



誤差の初期値をずらす

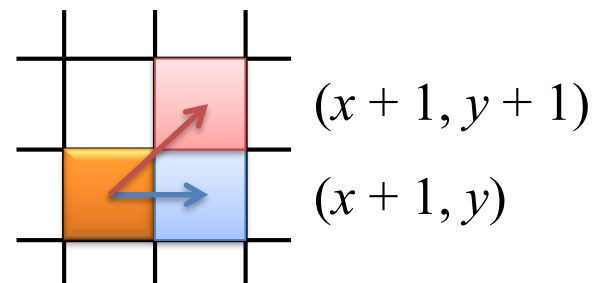


処理の整数化

- 次に打つべき点の位置の候補は次の2つ

- $(x + 1, y + 1)$

- $(x + 1, y)$



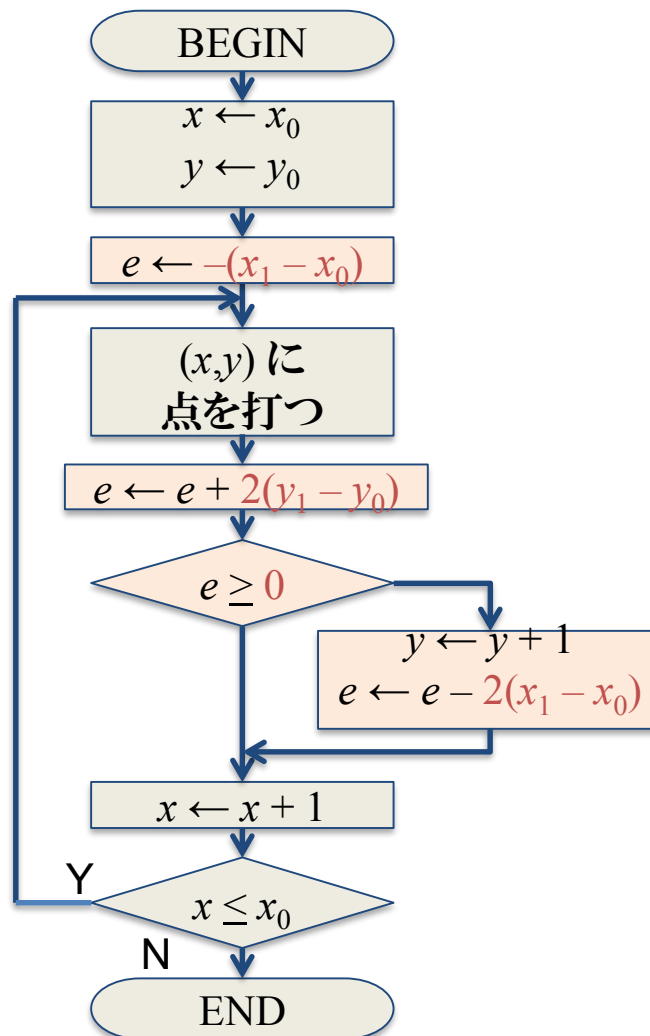
- 上のいずれかを選択する

- e に対する加減算の後, 符号判定により判断できる

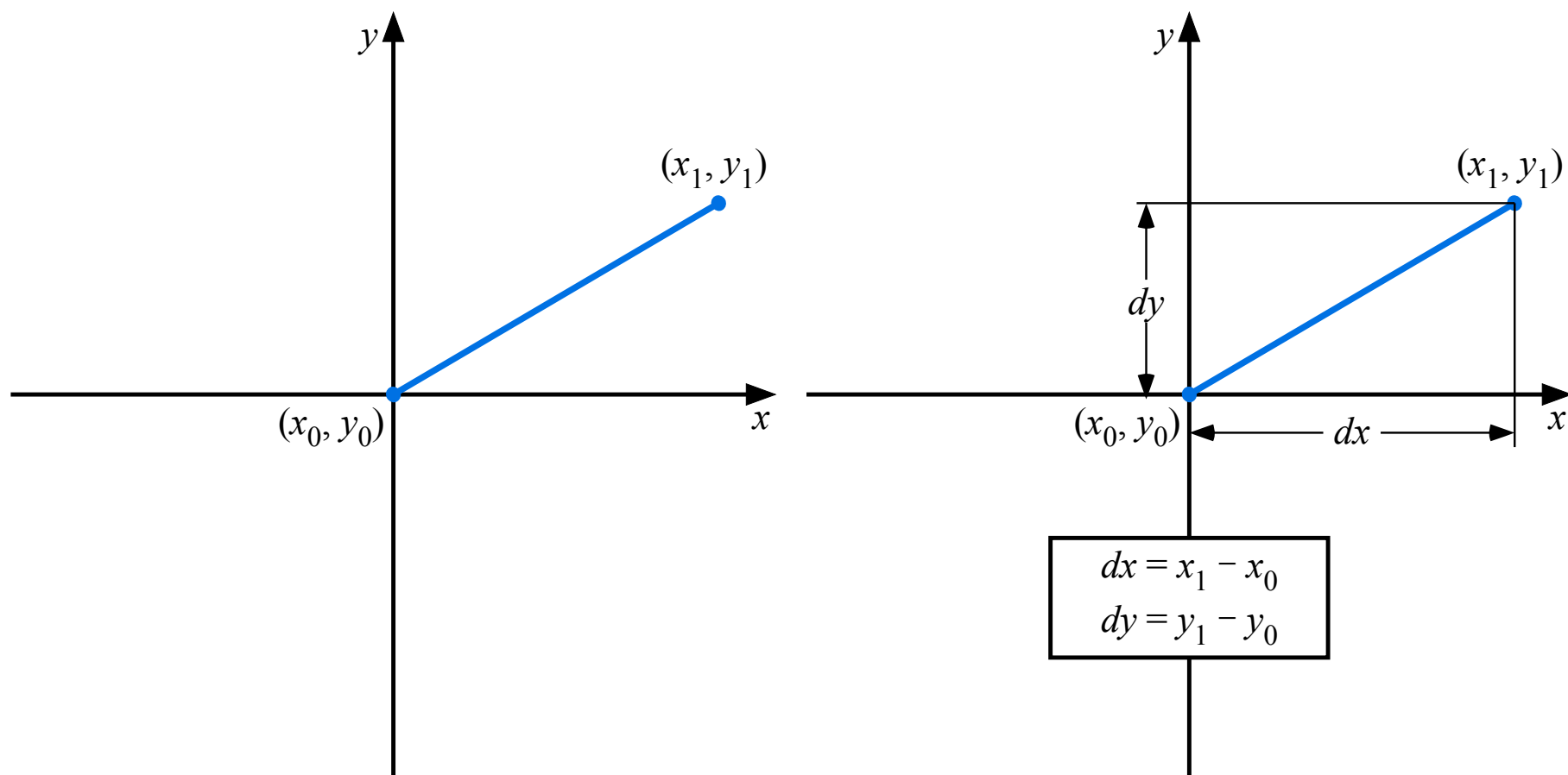
- e に関する処理に正の定数をかけても結果は同じ

- e に関する処理を $2(x_1 - x_0)$ 倍する

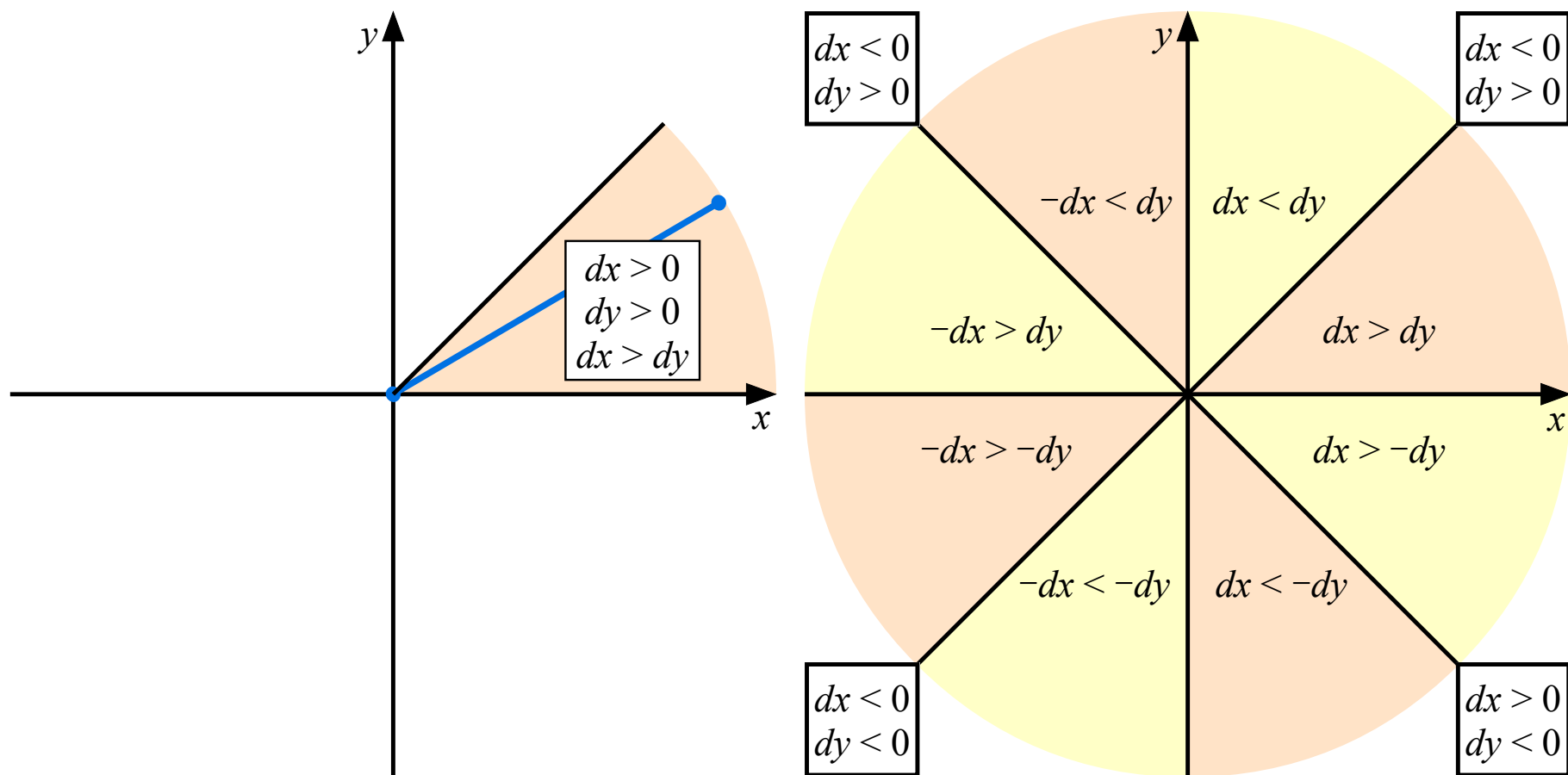
e に関する処理を $2(x_1 - x_0)$ 倍



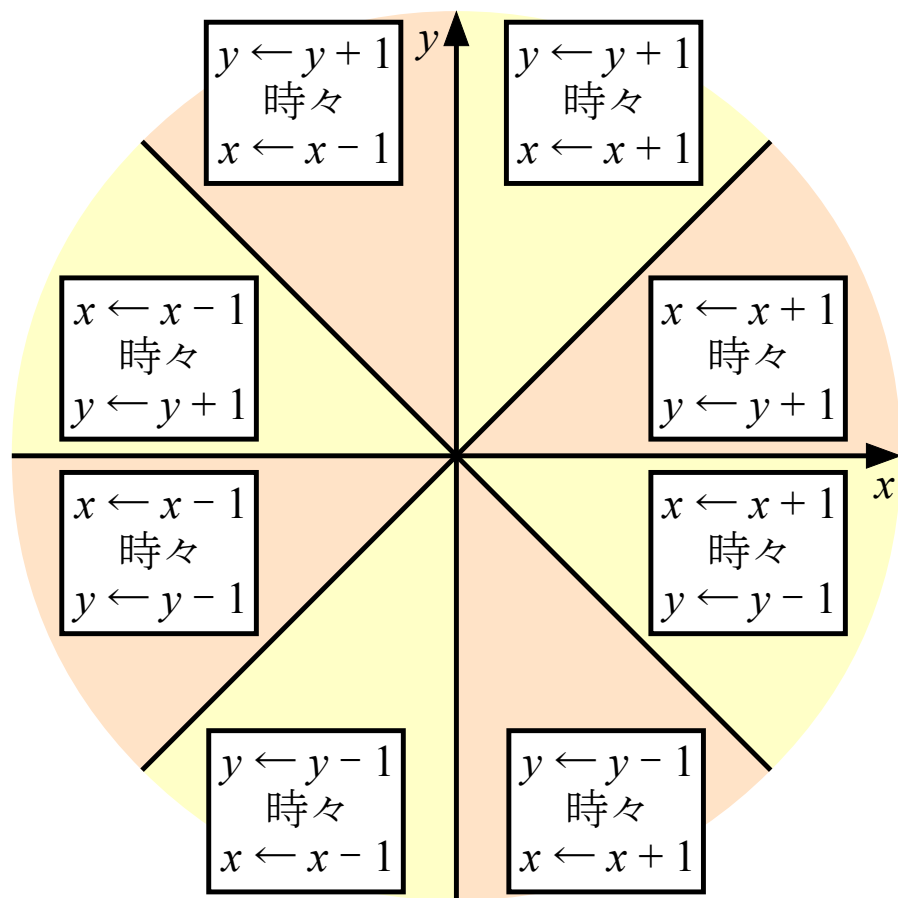
始点と終点の変位



線分を生成する8分の1象限



象限ごとの処理



x の増分計算

$dx \geq 0$ なら:

$x \leftarrow x + 1$

それ以外なら:

$x \leftarrow x - 1$

y の増分計算

$dy \geq 0$ なら:

$y \leftarrow y + 1$

それ以外なら:

$y \leftarrow y - 1$

増分方向の決定

$|dx| \geq |dy|$ なら

右を $|dx|+1$ 回

繰り返す

- ・ x の増分計算
- ・ y 方向の誤差判定に基づく y の増分計算

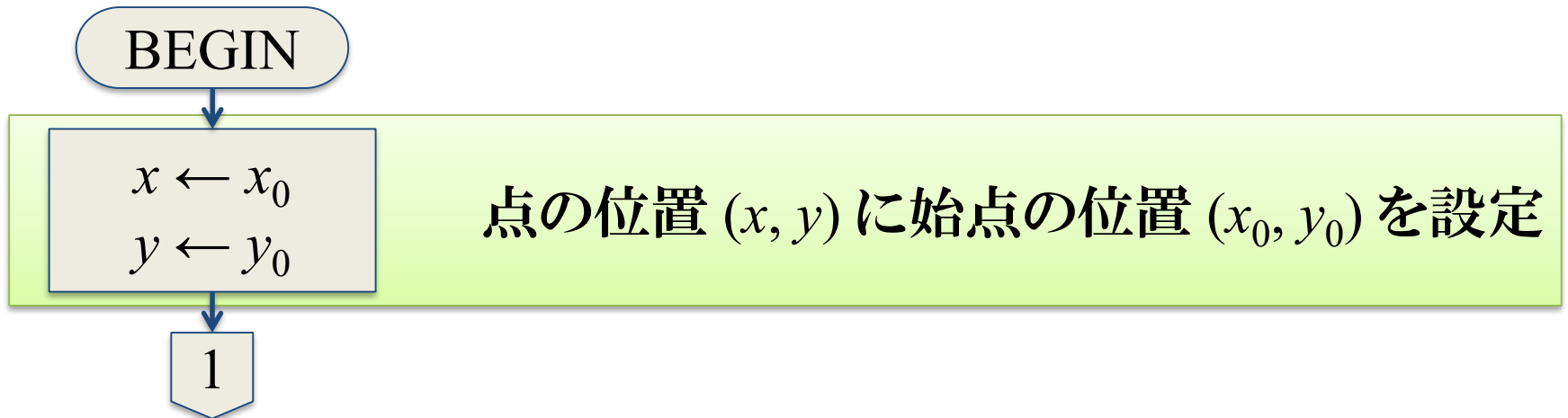
それ以外なら

右を $|dy|+1$ 回

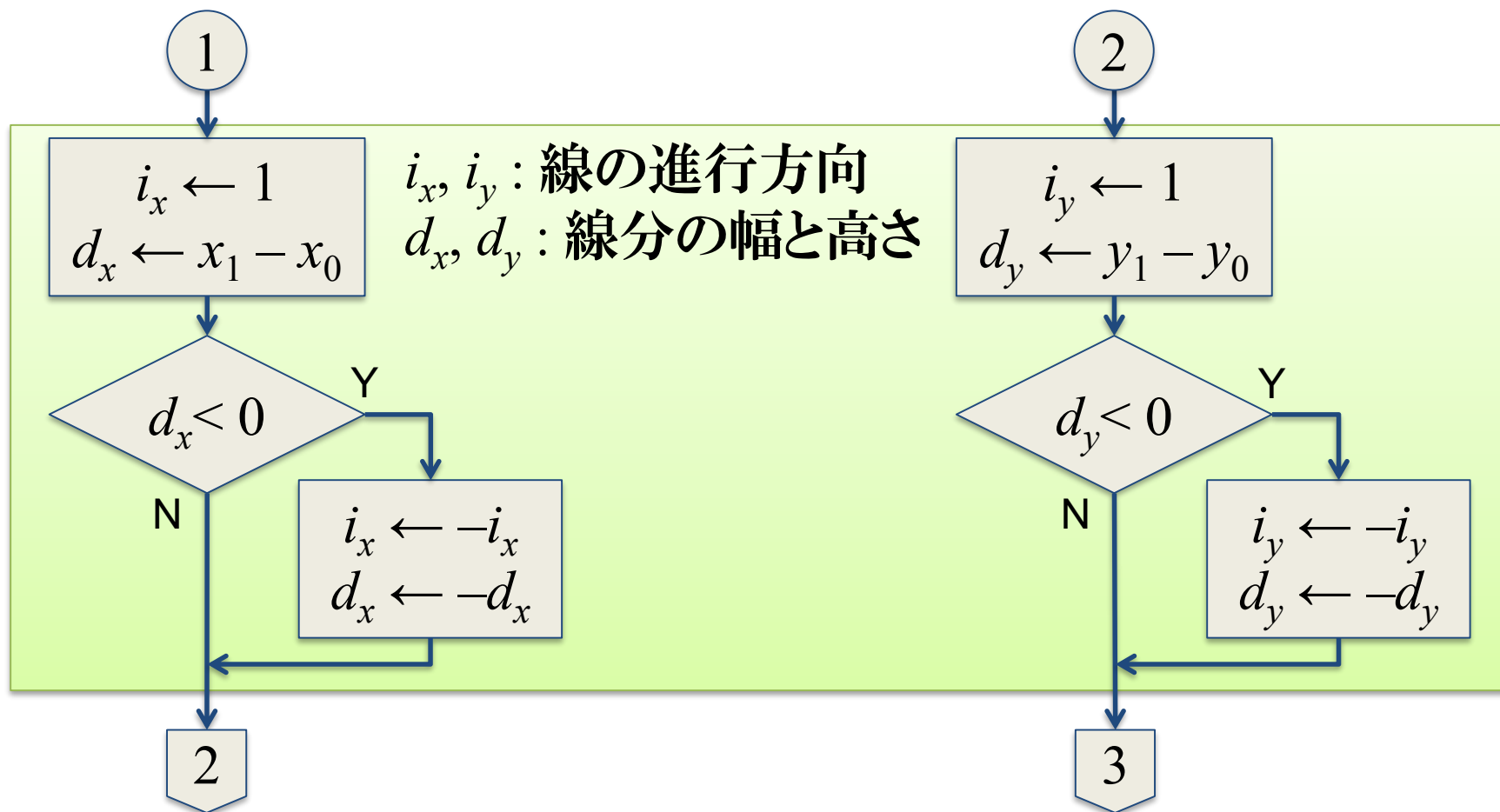
繰り返す

- ・ y の増分計算
- ・ x 方向の誤差判定に基づく x の増分計算

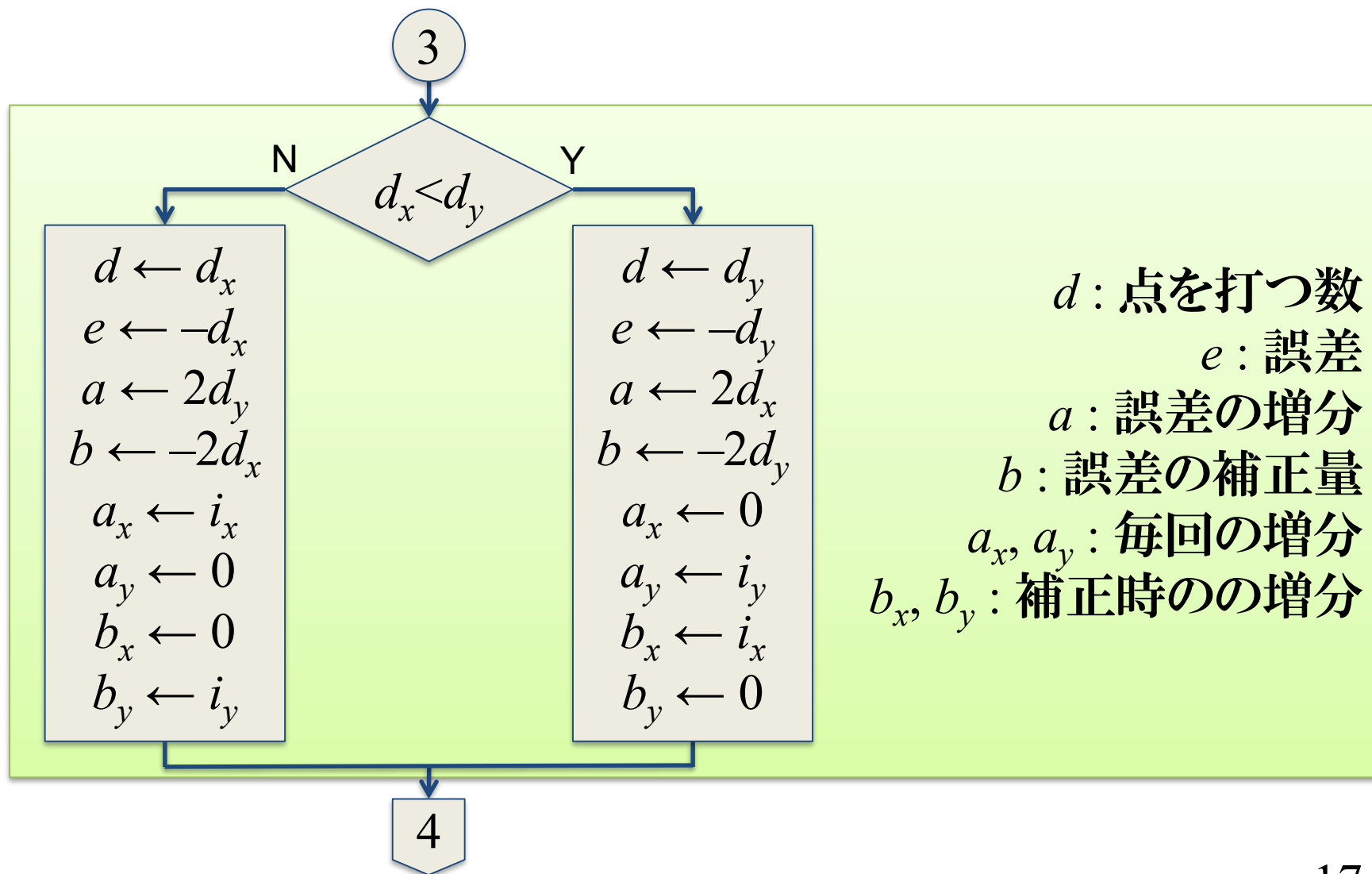
Bresenham のアルゴリズム (1)



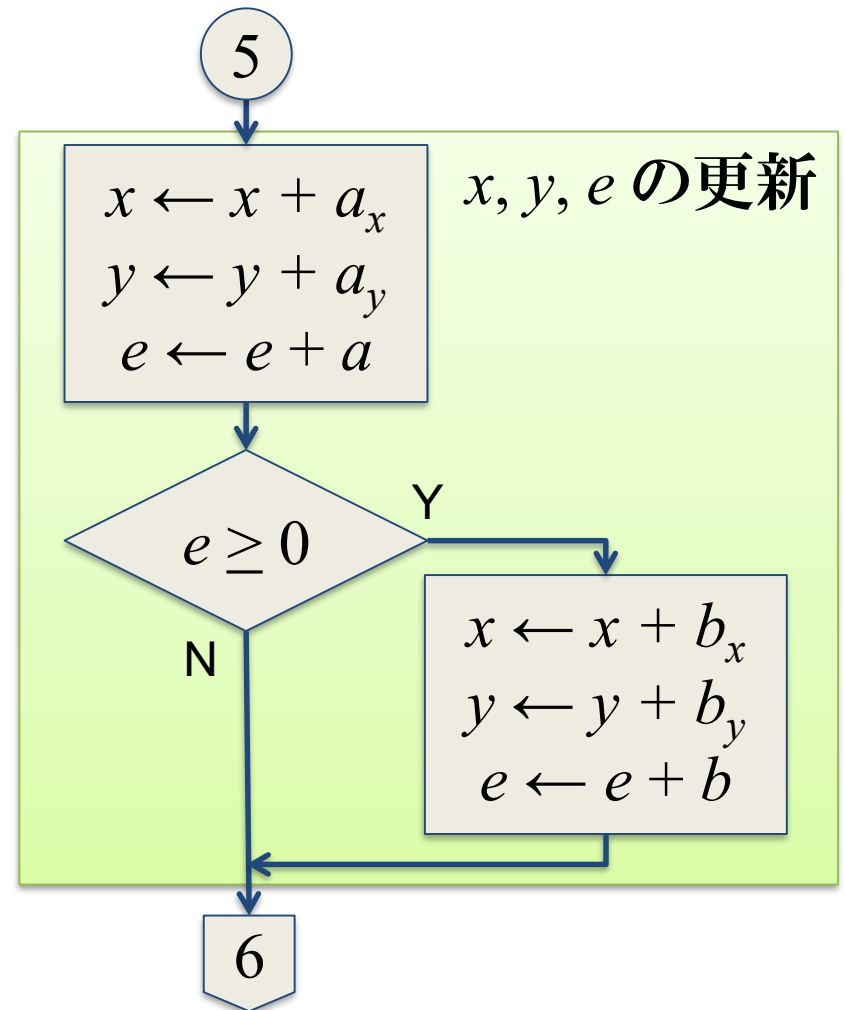
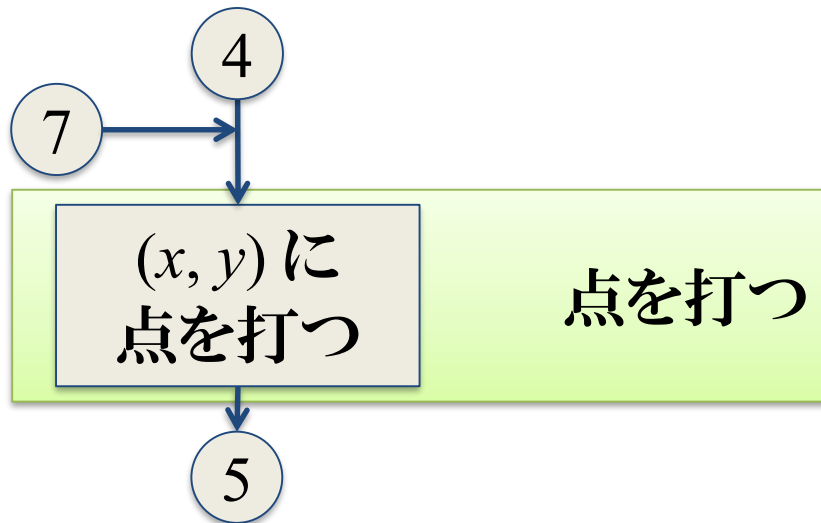
Bresenham のアルゴリズム (2)



Bresenham のアルゴリズム (3)



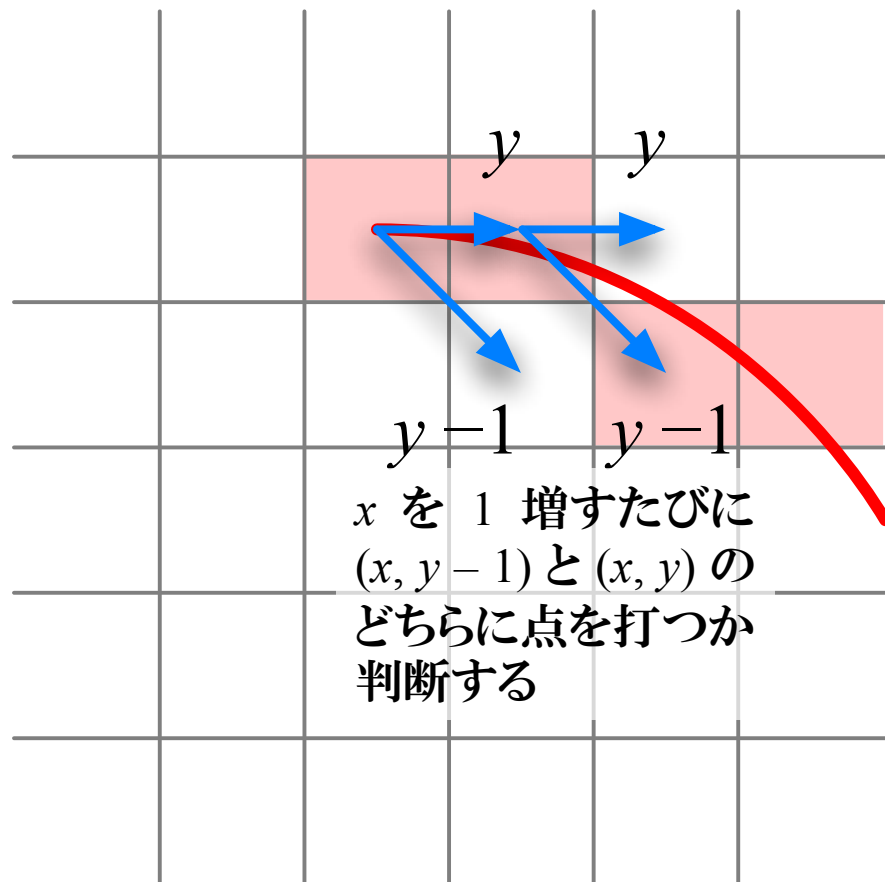
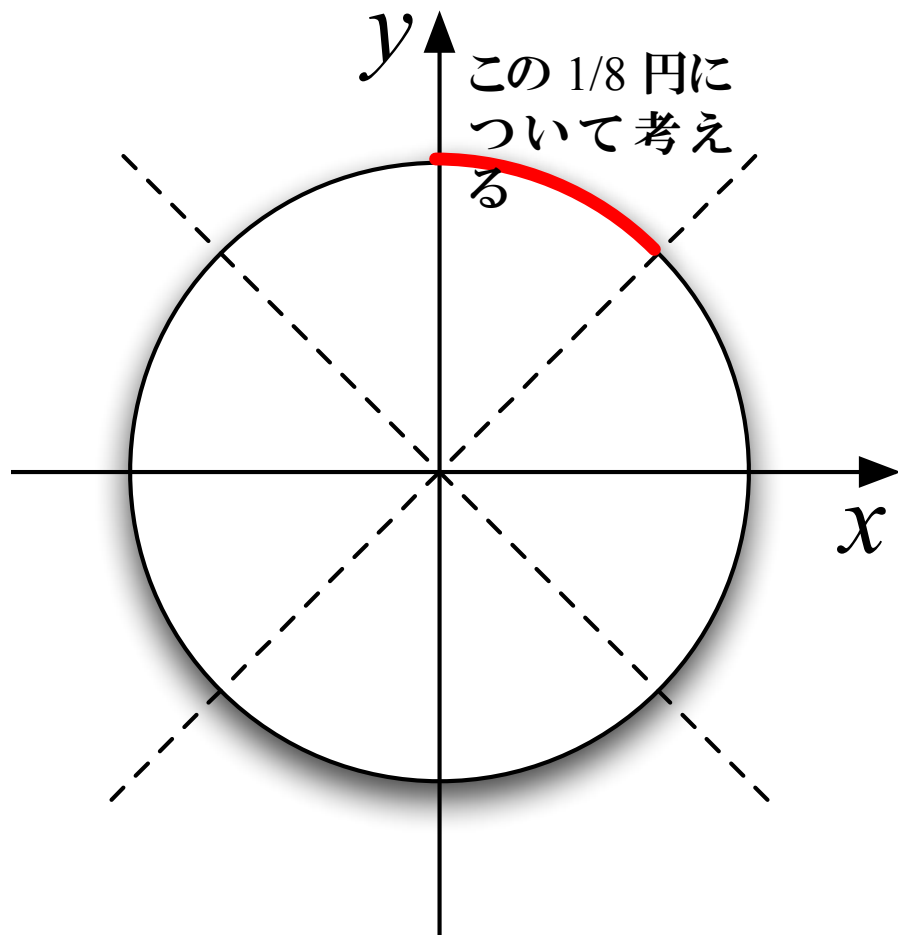
Bresenham のアルゴリズム (4)



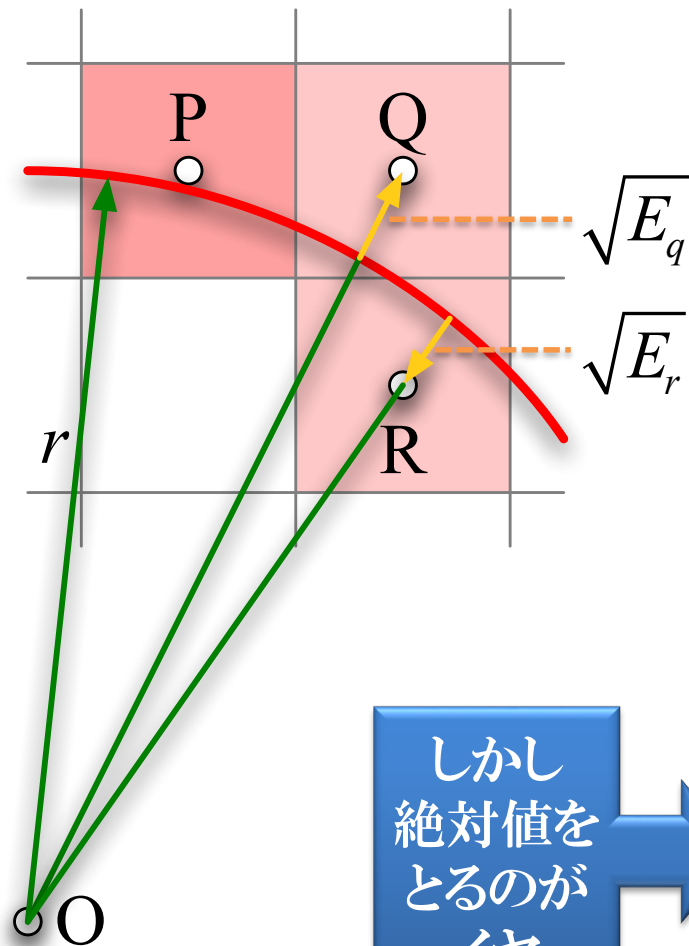
Bresenham のアルゴリズム (5)



円を描く



真の円との二乗誤差による判定



$$\overrightarrow{OP} = (x_i, y_i)$$

$$\overrightarrow{OQ} = (x_{i+1}, y_{i+1}) = (x_i + 1, y_i)$$

$$\overrightarrow{OR} = (x_{i+1}, y_{i+1}) = (x_i + 1, y_i - 1)$$

真の円の半径 r に対する二乗誤差

$$E_q = |\overrightarrow{OQ}|^2 - r^2$$

$$E_r = |\overrightarrow{OR}|^2 - r^2$$

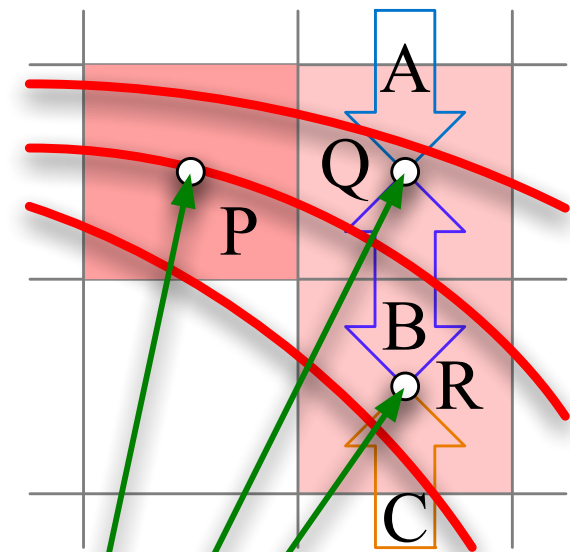
このとき

$$\left. \begin{array}{l} |E_q| < |E_r| \Rightarrow Q \\ |E_q| > |E_r| \Rightarrow R \end{array} \right\} \text{を選択する}$$

しかし
絶対値を
とるのが
イヤ

絶対値を使わずに判別する

- $d_{i+1} = E_q + E_r$ とおく
- 真の線が
 - Aを通るコース(Qを選ぶ)
 - ・ $E_q < 0, E_r < 0 \Rightarrow d_{i+1} < 0$
 - Cを通るコース(Rを選ぶ)
 - ・ $E_q > 0, E_r > 0 \Rightarrow d_{i+1} > 0$
 - Bを通るコース
 - ・ $E_q > 0, E_r < 0$
 - ・ Qを選ぶべきコースなら
 - ・ $|E_q| < |E_r| \Rightarrow d_{i+1} < 0$
 - ・ Rを選ぶべきコースなら
 - ・ $|E_q| > |E_r| \Rightarrow d_{i+1} > 0$



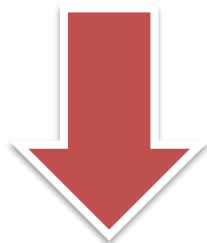
☒ 0

したがって
 $d_{i+1} < 0$ ならば Q
 $d_{i+1} > 0$ ならば R

d_{i+1} を漸化式で表す

$$d_{i+1} = E_q + E_r = \{ (x_i + 1)^2 + y_i^2 - r^2 \} + \{ (x_i + 1)^2 + (y_i - 1)^2 - r^2 \}$$

$$d_i = \{ (x_{i-1} + 1)^2 + y_{i-1}^2 - r^2 \} + \{ (x_{i-1} + 1)^2 + (y_{i-1} - 1)^2 - r^2 \}$$



$$\begin{aligned} d_{i+1} - d_i &= \{ (x_i + 1)^2 + y_i^2 - r^2 \} + \{ (x_i + 1)^2 + (y_i - 1)^2 - r^2 \} \\ &\quad - \{ (x_{i-1} + 1)^2 + y_{i-1}^2 - r^2 \} + \{ (x_{i-1} + 1)^2 + (y_{i-1} - 1)^2 - r^2 \} \end{aligned}$$

$d_i < 0$ のとき

- この場合は Q を選択

$$\begin{array}{l} \downarrow \\ x_i = x_{i-1} + 1 \\ \uparrow \\ y_i = y_{i-1} \end{array}$$

- これを代入すれば

$$d_{i+1} - d_i = 4x_{i-1} + 6$$

$$d_{i+1} = d_i + 4x_{i-1} + 6$$

$d_i \geq 0$ のとき

●この場合は R を選択

$$\begin{array}{l} \downarrow \\ x_i = x_{i-1} + 1 \\ \uparrow \\ y_i = y_{i-1} - 1 \end{array}$$

●これを代入すれば

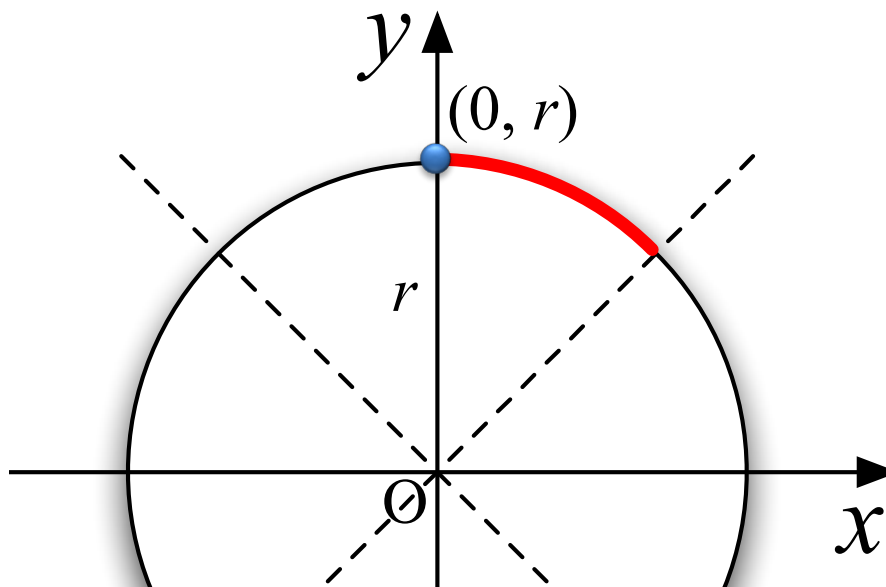
$$d_{i+1} - d_i = 4(x_{i-1} - y_{i-1}) + 10$$

$$d_{i+1} = d_i + 4(x_{i-1} - y_{i-1}) + 10$$

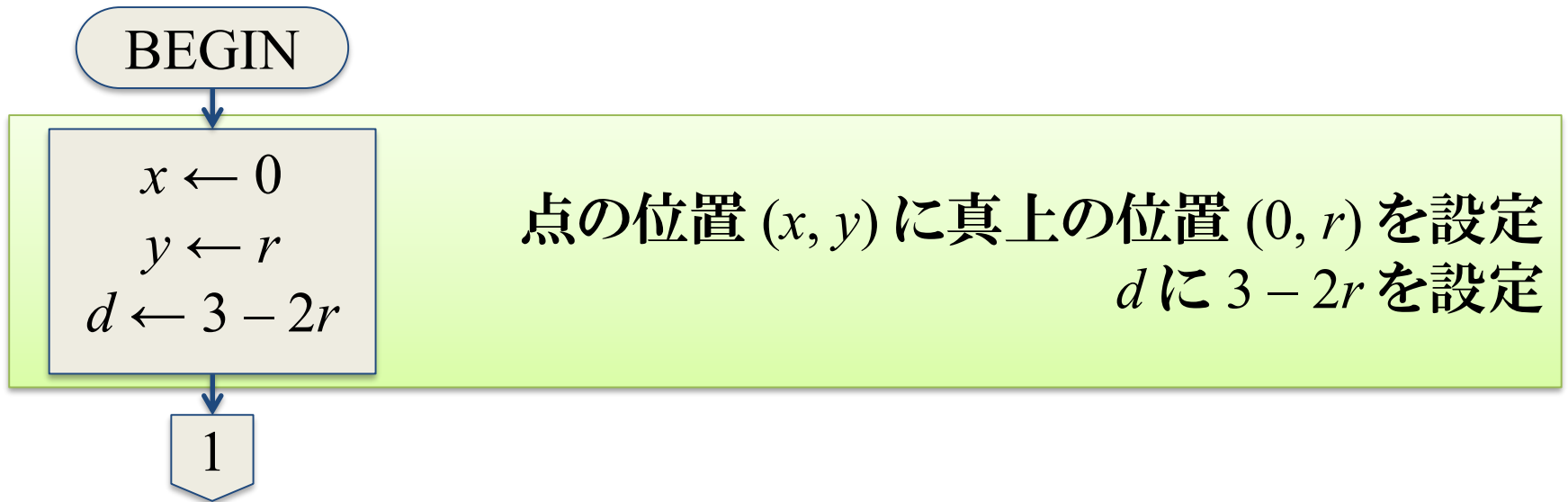
起点(真上)では

● $x_0 = 0, y_0 = r, d_0 = 0$

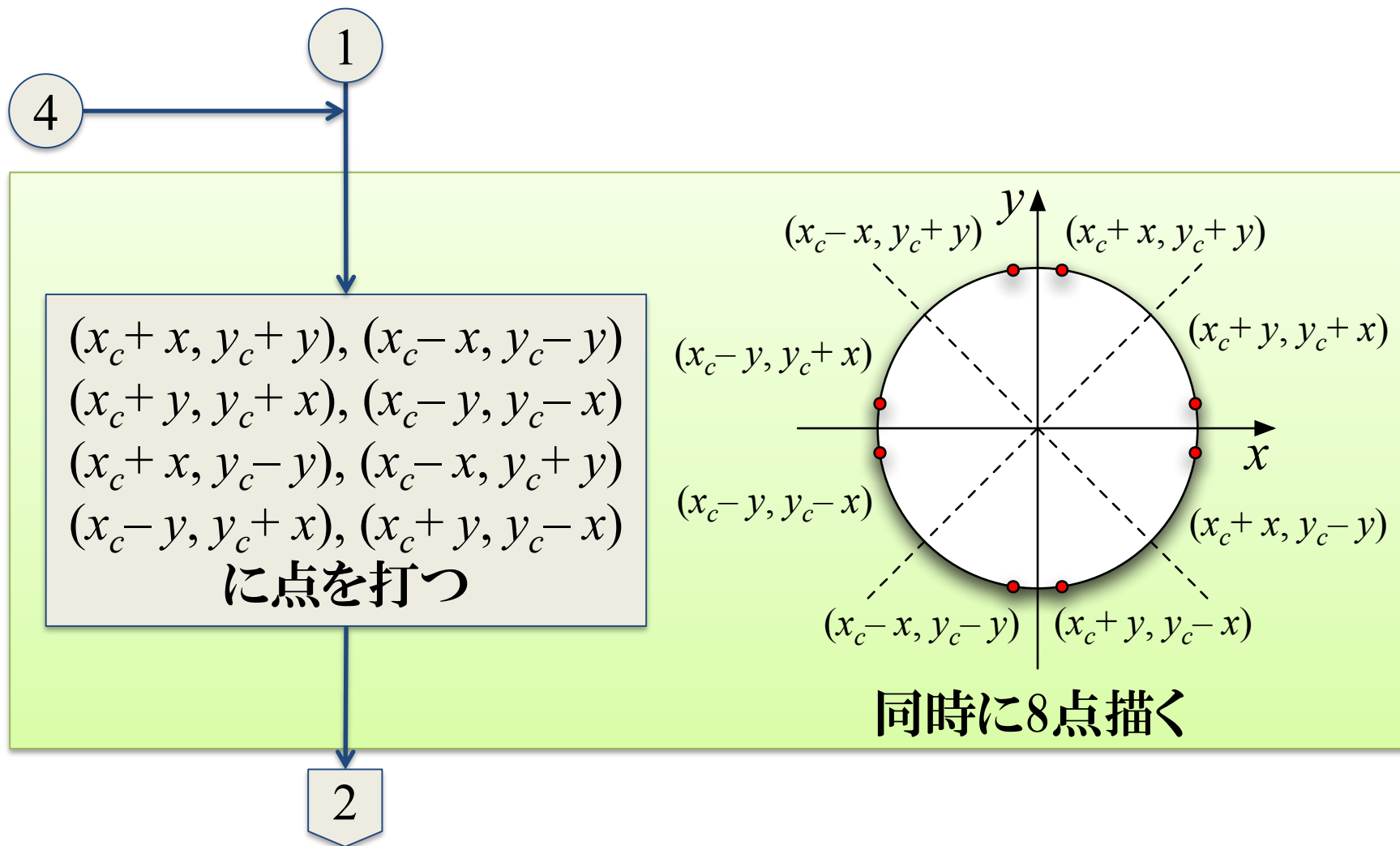
$$d_1 = \{ (x_0 + 1)^2 + y_0 - r^2 \} + \{ (x_0 + 1)^2 + (y_0 - 1) - r^2 \}$$
$$= 3 - 2r$$



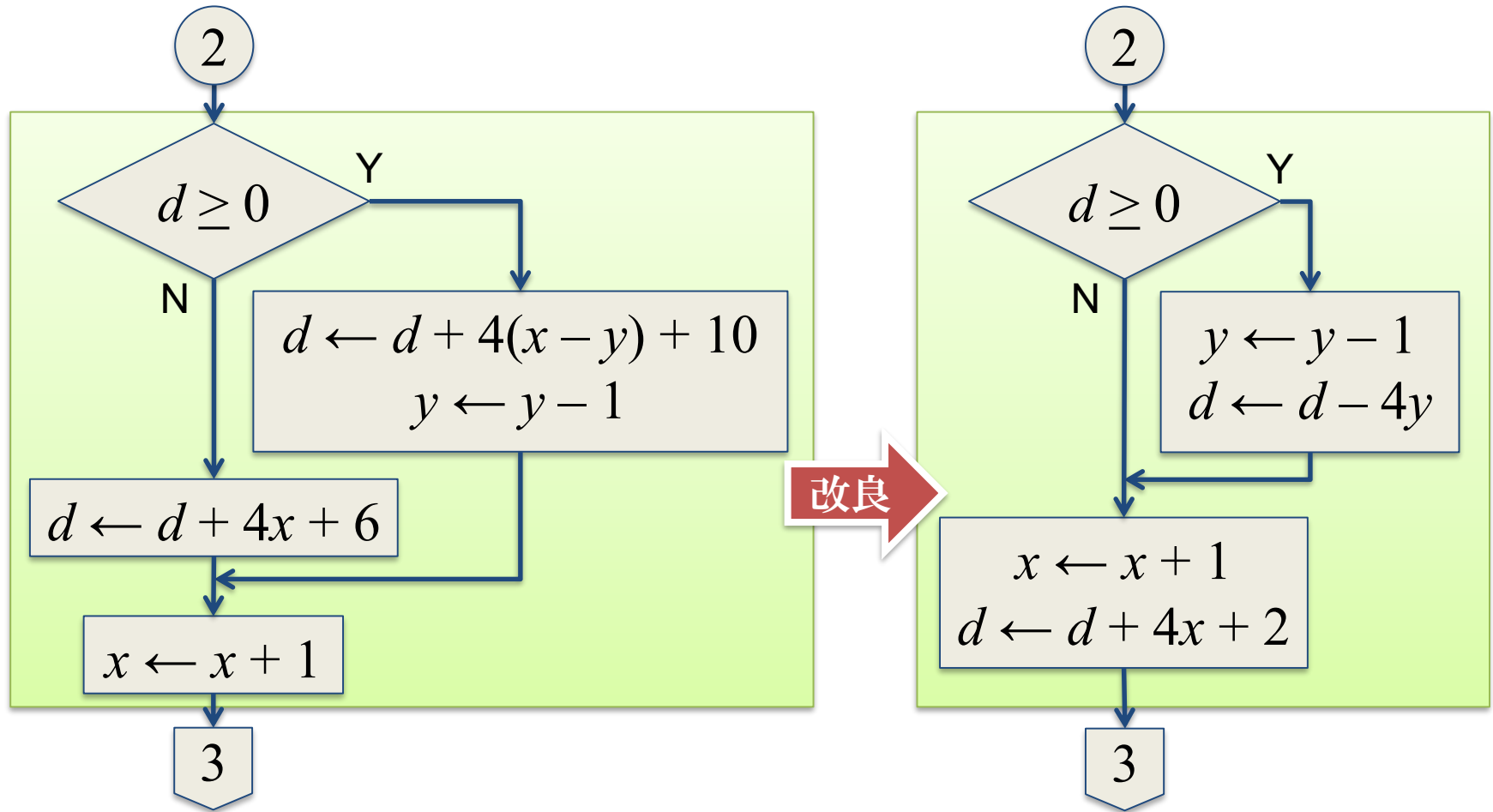
Michener のアルゴリズム (1)



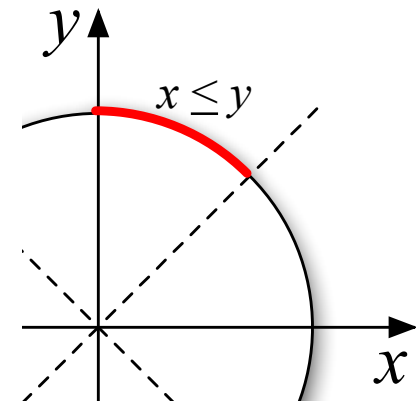
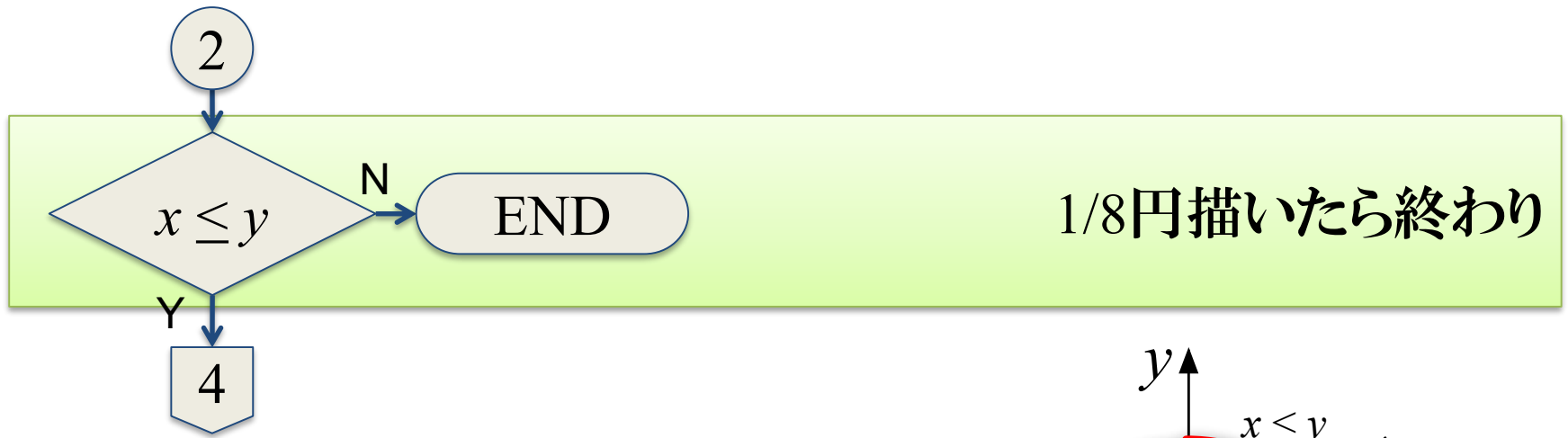
Michener のアルゴリズム (2)



Michener のアルゴリズム (3)



Michener のアルゴリズム (4)



おわり